



FC ID の割り当て

- [ファイバチャネル ID \(1 ページ\)](#)

ファイバチャネル ID

ファイバチャネルのノードおよびポートには、グローバルに一意なワールドワイド番号 (WWN) が必須です。Cisco UCS では、WWN は ID プールとして作成されます。ファイバチャネルノード (サーバ全体、ストレージアレイ) にはワールドワイドノード名 (WWNN) が必須で、ファイバチャネルポートにはワールドワイドポート名 (WWPN) が必須です。WWNN と WWPN はいずれも物理エンティティであるため、64 ビットのアドレスが割り当てられています。

WWNN プールは、Cisco UCS ドメインに対する 1 つの大きなプールとして作成されます。Cisco UCS Manager の [SAN] タブでは、デフォルトプールを使用できます。ただし、その UCS ドメインではカスタムの WWNN プールを作成することを推奨します。

通信デバイスはノードです。サーバのホストバスアダプタはファイバチャネルノードを構成します。サーバとホストでは、WWNN は各ホストバスアダプタ (HBA) で一意です。SAN スイッチでは、WWNN はシャーシに共通です。ミッドレンジストレージでは、WWNN は各コントローラユニットで共通です。エンタープライズストレージでは、WWNN はアレイ全体で一意です。

各サーバには、HBA の各ポートに一意の WWPN が割り当てられます。SAN スイッチでは、WWPN はシャーシの各ポートで使用できます。ストレージでは、各ポートに個別の番号が割り当てられます。

Cisco UCS Manager の [FC Identity] タブには、Cisco UCS ドメイン SAN クラウドに含まれるデバイスの FC ID が、次のような情報と共に表示されます。

- 選択されたデバイスの WWNN または WWPN 識別子
- 識別子が vHBA に割り当てられているかどうか
- 識別子が割り当てられた vHBA

